Canon

Lens Accessory
Focus Demand
FDJ-S31 / FDJ-S41

JPN 取扱説明書

ご使用の前に必ず「安全にお使いいただくために」をご覧になり、注意事項にそって正しくご使用ください。

このたびは、フォーカスデマンド FDJ-S31(右手用) / FDJ-S41(左手用) をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このフォーカスデマンド FDJ-S31 / FDJ-S41 は、箱型レンズのフォーカス操作をサーボで行う際に使用するアクセサリーです。本デマンドを使用することで、フォーカスを遠隔操作することが可能になります。

本製品の取扱説明書の構成は下記の通りです。
- 取扱説明書「はじめにお読みください」(製品同梱)
- 取扱説明書「規制」(製品同梱)
- 取扱説明書(Web)

商品構成

ご使用を始める前に以下のものがすべてそろっていることをご確認ください。
不足品がある場合はお買い求めの販売店にご連絡ください。
- ・フォーカスデマンド本体
- ・クランパー（CR-30）
- ・デマンドケーブル
- ・取扱説明書「はじめにお読みください」
- ・取扱説明書「規制」

取付け・接続

1. フォーカスデマンドに付属されているクランパーの大小の締付けノブを緩めて、三脚のパン棒に取り付けます。
2. パン棒に取り付けたあと、クランパーの大小の締付けノブを締め、しっかりと固定します。
3. フォーカスデマンドとクランパーの各々の菊座を噛み合わせ、クランパーの取付けノブを締め付けて、しっかりと固定します。
4. デマンドケーブルのコネクターをレンズ本体の “TO SERVO CONTROL” のコネクター部へ接続し、ケーブルの反対側はフォーカスデマンドのコネクター部に接続します。

操作・機能

[フォーカス操作]

フォーカスデマンドの操作ノブを回して、フォーカス操作を行います。

[回転方向切替え]

フォーカスデマンドの回転方向切替えスイッチにより、無限／至近の方向を切り替えることができます。

FDJ-S31： 出荷時には、操作ノブ側から見て時計方向に回すと無限側に焦点が合うように設定されています。
FDJ-S41： 出荷時には、操作ノブ側から見て反時計方向に回すと無限側に焦点が合うように設定されています。

[トルク調整]

フォーカスデマンドのトルク調整つまみを回すことにより、操作ノブの操作トルクを変えることができます。

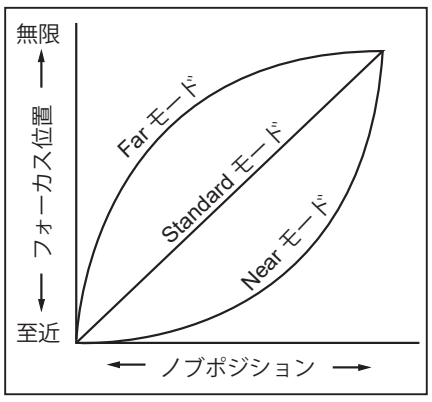
[フォーカス特性カーブ選択]

フォーカスデマンドのフォーカス特性カーブ選択スイッチにより、フォーカス移動の特性を直線と 2 種類の曲線の 3 モードから選択できます。

Standard モード
ノブの回転量に対して、フォーカスレンズ群が直線的に移動する標準的な特性です。

Far モード
ノブの回転量に対して、無限側に回すほどフォーカスレンズ群の移動量が少なくなるカーブ特性です。無限側の微調整が容易になります。

Near モード
Far モードとは反対に、ノブの回転量に対して、至近側に回すほどフォーカスレンズ群の移動量が少なくなるカーブ特性です。至近側の微調整が容易になります。



[オートフォーカス操作]

『ご注意ください』
以下のオートフォーカス（以下 AF）機能は、「AF 機能付きレンズ、AF 機能対応デマンド、AF 機能対応カメラ」の組み合わせ時に動作します。ただし、AF 機能対応カメラ使用時にビューファー（VF）に AF 枠を表示していない状態（または表示できない状態）では、AF 枠の移動はできません。

AF MODE 切替えスイッチ

PART TIME： AF ACTIVE/HOLD スイッチを押している間、AF モードになります。
FULL TIME： 常時、AF モードになります。
OFF： AF 機能を使用しないときに選択します。

AF ACTIVE/HOLD スイッチ

AF MODE の選択状態により、スイッチの機能が次のようになります。

AF MODE の状態	AF ACTIVE/HOLD スイッチの機能
PART TIME	押している間は AF 制御になります。
FULL TIME	押している間は押される前のフォーカス位置を保持します。

VF 表示切替えスイッチ

ビューファー (以下 VF) に AF 枠と合焦状態表示を選択するスイッチです。
ALL： AF 枠および合焦状態の表示
STATUS： 合焦状態の表示
OFF： AF 枠および合焦状態は表示されません。

『ご注意ください』
AF 枠および合焦状態の表示については、カメラ (含む VF) 側の機能 / 仕様です。ご使用になるカメラをご確認ください。

AF 追従性調整つまみ

AF 制御時の追従性（応答速度）を調整します。
時計方向に回転： 応答は遅くなります。
反時計方向に回転： 応答は速くなります。

AF 枠サイズ変更つまみ

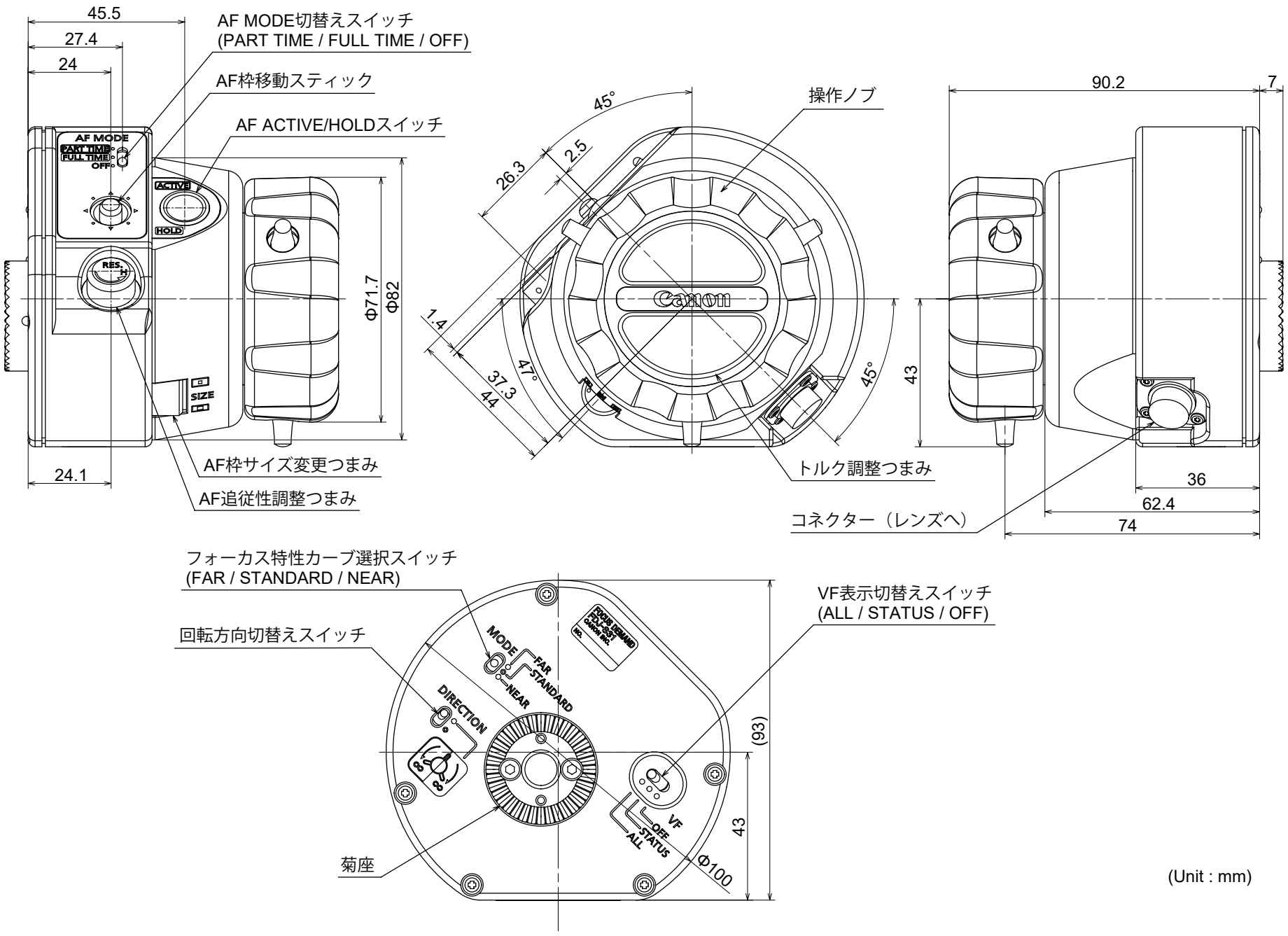
AF 制御時の画面中において、フォーカスを合わせたい被写体に対して AF 枠サイズを決定するつまみです。AF 枠内の被写体に AF 制御（合焦）を行います。AF 枠サイズは 3 段階に変更できます。

AF 枠移動スティック

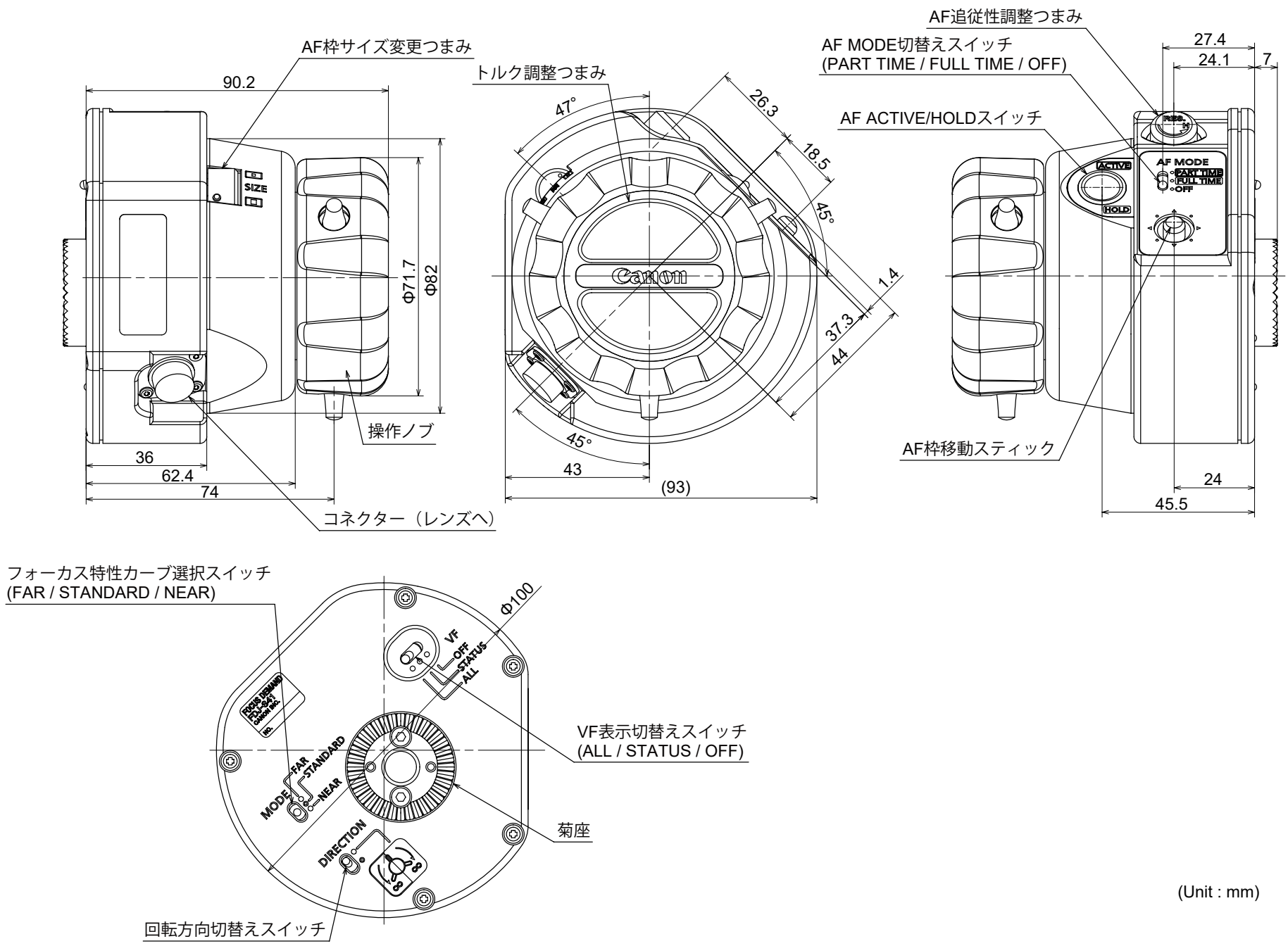
＜ AF 枠移動操作＞
AF 制御時の画面中において、フォーカスを合わせたい被写体に対して AF 枠を移動するときに操作します。操作は、AF 枠を移動する方向にスティックを倒します。
＜ AF 枠中心復帰操作＞
AF 枠を画面の中心に復帰させるときに、AF 枠移動スティックの頭部を押します。AF 枠サイズは中心移動前と同じサイズのまま中心に戻ります。

© 2022.04 CANON INC.

外観図　FDJ-S31



外観図　FDJ-S41



© 2022.04 CANON INC.

安全にお使いいただくために

製品および取扱説明書に記載されている安全に関する警告や注意事項は、必ず守ってください。
これら危険防止の警告や注意事項にそった取扱いをしない場合、けがや事故に至る可能性があります。
この取扱説明書をよく読んで、十分に理解した上で本製品を正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は必要に応じてご覧になれるよう大切に保管してください。

この取扱説明書の中では、お客様および他の人々の安全をお守りし、事故を未然に防止するための警告文や注意文に以下のシンボルマークと言葉を使用しています。

⚠警告	取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れがある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、負傷または物的損害を負う恐れがある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。
『ご注意ください』	操作する上での注意事項または、推奨事項です。 ここに記載されていることを守らないと、製品が正しく機能しない可能性があります。また、操作上における有益な情報も記載されています。

取扱いについて

⚠警告

1. 水をかけたり、濡らしたりしないでください。 万一、内部に水が入った場合は使用を中止してください。そのまま使用すると、火災や感電の原因となることがあります。
2. ケーブルを抜くときは、必ずコネクター部を持って抜いてください。ケーブル部を引っ張ると、断線などケーブルが傷つき、その部分から漏電して火災や感電の原因となることがあります。

⚠注意

1. 本製品を持ち運ぶときは、落下させないようご注意ください。落下させますと、けがの原因となることがあります。
2. 取付け部は、しっかりと締め付けてください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。
3. 定期的（目安として 6 か月～ 1 年ごと）に取付け部に緩みが無いか点検してください。取付け部が緩むと、落下してけがの原因となることがあります。

『ご注意ください』

1. 本製品に強い衝撃を与えると故障の原因となることがあります。
2. 本製品は防滴構造にはなっておりません。雨･雪など､水滴に直接さらして使用しないでください。故障の原因となることがあります。
3. 粉塵の多い場所でのご使用には十分ご注意ください。製品内に粉塵が入ると、故障の原因となることがあります。
4. 化学薬品を使用するなど特殊な環境のもとでレンズを使用される場合には、あらかじめご相談ください。特殊な環境下で使用すると故障の原因となることがあります。

異常時の対処方法について

⚠警告

万一下記のような異常が発生した場合には､ただちにケーブルを製品から抜いて､お求めになった代理店､または販売店までご連絡ください。

・発煙、異臭、異常音などが発生した場合
・異物（金属や液体など）が製品内部に入ってしまった場合

保守・点検について

⚠警告

本製品の外装を清掃するときは、必ずケーブルを抜き、レンズやカメラから取り外してから行ってください。また、ベンジン・シンナーなど引火しやすいものは、使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

『ご注意ください』

使用条件・頻度・環境などにより異なりますが、毎年一回程度は保守点検を実施し、必要な場合にはオーバーホールなどを行ってください。

保管について

『ご注意ください』

霧や小雨などで湿気を含んだ場合には、速やかに乾いた布で水分をふき取り、乾燥剤（できるだけ新しい乾燥剤を使用）とともに、ビニール袋に入れて密封し、完全に内部の湿気を除去してください。カビや故障の原因となることがあります。

お客様へ

1. お客様の誤った操作に起因する障害については、当社は、責任を負いかねますのでご了承ください。
2. 本製品の品質・機能および取扱説明書に関して、お客様の使用目的に対する適合性・市場性などについては、一切の保証をいたしかねます。また、そこから生じる直接的・間接的損害に対しても責任を負いかねます。
3. 本製品の仕様・商品構成・外観図などは、お断りなく変更することがあります。
4. 修理や保守点検、本取扱説明書に記載されていない諸調整などにつきましては、お求めになった代理店、または販売店までお問い合わせください。
5. お客様のご都合で、当社に相談なく改造が行われた製品に対しては、その修理などをお引き受けできない場合がありますのでご注意ください。

キヤノン株式会社
〒 146-8501　東京都大田区下丸子 3-30-2

この取扱説明書の著作権はキヤノン株式会社にあります。
この取扱説明書の一部または全部をキヤノン株式会社の承諾書なしに､複写･複製または転記することは禁止されています。

© 2022.04 CANON INC.